

令和7年度 由布市人材育成通信

由布市教育委員会では、地域の子どもを「地域で育てる」ことを大切にし、幼児期から高校卒業まで「13年間を見通した人材育成教育」を展開しています。



校種間連携

幼稚園・保育園・こども園
と小学校の連携



幼児教育と小学校教育を円滑に接続するため、架け橋期のカリキュラムを作成しました。

小学校・中学校の連携



小学校6年生が中学校を訪問し、中学生が主体となって、授業や行事等について説明を行いました。

中学校・由布高校の連携



中高合同のボランティア清掃を実施し、中学生と高校生が交流しつつ、清掃に取り組みました。

情報活用能力の育成～由布学の取り組み～

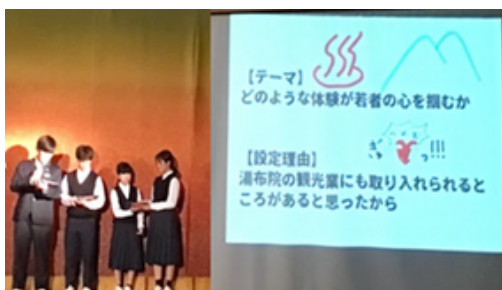
西庄内小学校

6年生は「男池」「平石の棚田」「学校の歴史」等について調べ、その魅力を伝える動画を制作しました。その動画を動画サイトに掲載し、発信しました。



湯布院中学校

2年生は修学旅行（京都）での現地インタビューを通して、湯布院の観光業等をより盛んにするために考えたことをスライドにまとめて発表しました。



由布高校

デザインシンキングの手法を活用して、由布高校や地域の魅力を発信するため、キャッチコピーやポスターを制作しました。



グローバル人材の育成



各中学校の取り組み

各中学校では、3年生の授業を対象に「乗り入れ授業」を実施しました。由布高校の教員と中学校の教員が協力し、きめ細かな指導を行なっています。

由布高校の取り組み

由布高校では、総合進学コース・観光コースで韓国語・中国語の授業を行っています。英語だけではなく、韓国語や中国語検定にも挑戦しており、学習の成果を体験入学等で発表しました。

その他

ドローンプログラミング学習

由布高校の生徒はドローンのプログラミングについて学習しています。その内容をもとに、由布高生が主体となり、中学校でプログラミングの授業を行なっています。ドローンの操作から、自動飛行するプログラミングまで、教員の力を借りることなく、由布高生が教えていました。



由布高校振興大会

書道部と吹奏楽部のパフォーマンスから始まり、「由布の学びの発表」として、各コースの取り組みを紹介しました。その際、写真や映像を活用したり、参加者と交流する場面をつくったりと、参加者の印象に残るような工夫が多く見られました。最後に、郷土芸能部による神楽の迫力のある演舞が行われました。生徒が主体となって運営されていました。

